

観音寺市で発生するおそれのある地震

日本周辺で発生する地震は、中央構造線など内陸地下の活断層による「直下型地震」と海側プレートが陸側プレートの下に沈み込み、そのひずみの蓄積が限界に達したとき、陸側プレートが跳ね上がり、地震が発生する「海溝型地震」との2つに大別することができます。

本マップでは、市内全域で非常に大きな揺れが起こり、かつ津波浸水のおそれがある「南海トラフを震源とする海溝型地震（最大クラス）」について記載しています。

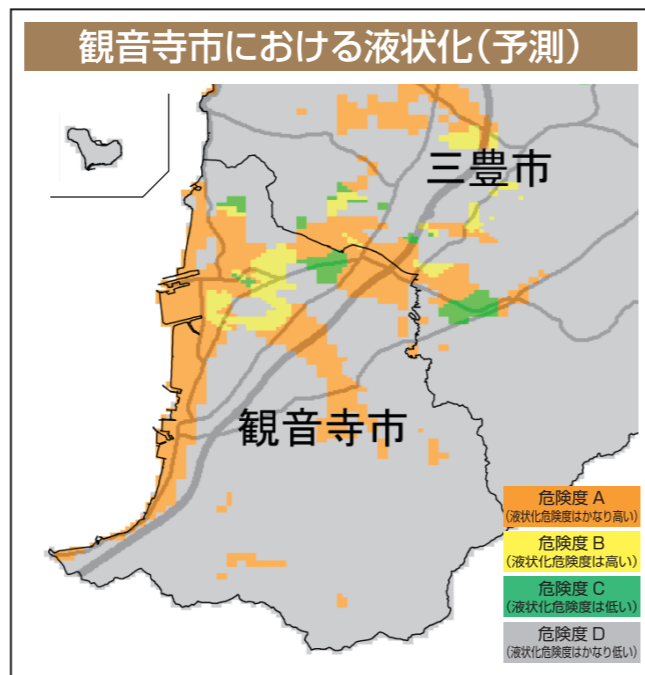
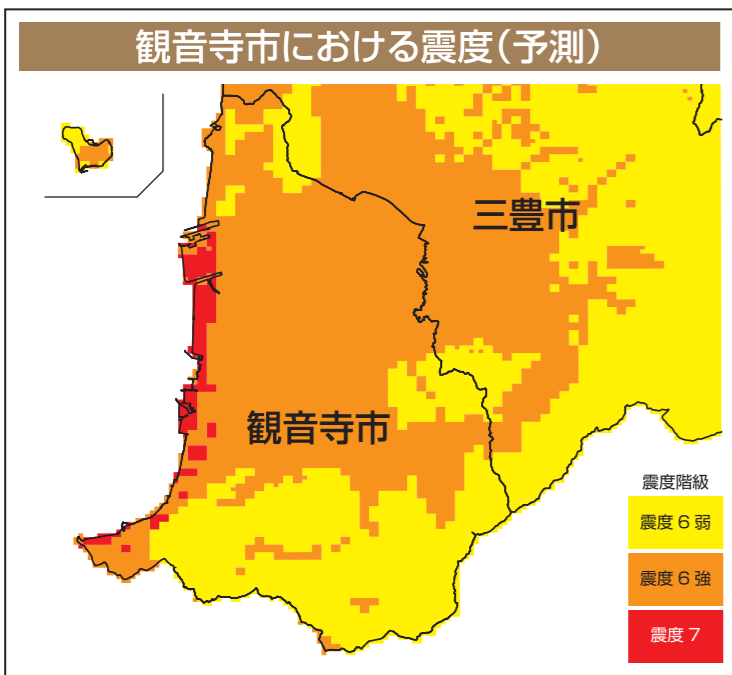
南海トラフを震源とする海溝型地震(最大クラス)とは

南海トラフを震源とする地震は、40年以内にマグニチュード8～9級の地震が90%程度の確率で発生するといわれています。次に発生する地震が必ずしも想定どおりになるとは限りませんが、被害を少なくするため、日常より防災対策（迅速な避難ができる準備や建物耐震化、家具転倒防止など）をしておきましょう。

地震による液状化とは

液状化とは、地下水位の高い砂地盤で地震が発生した際に地盤が液体状になる現象のことです。

砂や水などが噴出し、道路に段差が生じたり、建物が倒壊したり、マンホールなどが浮き上がる場合があります。



香川県震度分布図（南海トラフの最大クラスの地震）
（出典：香川県地震・津波被害想定）

香川県液状化危険度予測図（南海トラフの最大クラスの地震）

地震の揺れと想定される被害

- 震度6弱**
- 立っていることが困難になります。
 - 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもあります。ドアが開かなくなることがあります。
 - 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがあります。
 - 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがあります。倒れるものもあります。

- 震度6強**
- 立っていることができず、はわないと動くことができません。飛ばされることもあります。
 - 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなります。
 - 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多くなります。
 - 耐震性の高い木造建物は、壁などにひび割れ・亀裂がみられることがあります。

- 震度7**
- 固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともあります。
 - 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものがさらに多くなります。
 - 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがあります。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物は、倒れるものが多くなります。

地震発生から避難・避難後までの行動マニュアル

地震発生

当初は激しい揺れ!

- **まず、身を守る(シェイクアウト)**
机の下などに避難。あわてて外へ飛び出さない。
- **素早く火を消す**
危険が伴うので無理はしない。
- **非常脱出口の確保**
ドア・窓を開ける。



揺れがおさまったらまず火の始末

- **火元の確認**
火が出ていたら、あわてずに初期消火。
- **家族の安全確認**
倒れた家具の下敷きになっていないか確認。
- **靴を履く**
ガラスの破片や散乱物から足を守る。



余震に注意しつつ隣近所の安全確認

- **隣近所への声かけ**
けが人、行方不明者がいないかを確認。
- **近所に火が出ていたら初期消火**
大声で知らせ、消火器、バケツリレーなど、近隣で協力して消火を。
- **余震に注意**



デマにまどわされず、正確な情報を収集

- **正しい情報を聞く**
ラジオやテレビ、防災行政無線の情報を聞く。
- **電話はなるべく使わない**
安易に電話をかけることは避け、安否の確認は「災害用伝言ダイヤル」で。
- **家屋倒壊の危険があればすぐに避難!**
避難するときはガス栓を閉め、プレーカーを落とす。



避難後は助け合いの心で行動を

- **助け合いの心が大切**
力を合わせて消火活動、救出・救護活動。
- **水・食料は蓄えているもので**
一週間分の飲料水と食料は備蓄しておく。
- **壊れた家には入らない**
無理をして、二次被害を起こさない。
- **災害情報・支援情報の収集**
引き続き余震に注意。



発生
1~2分

発生
3分

発生
5分

発生10分
発生数時間
発生3日くらい